

果樹カメムシ類の越冬量が多いです！ 春以降の果樹園における被害発生に注意しましょう！

チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシは、果樹カメムシ類の一種で、なし、りんご、うめ、もも等の様々な果樹の果実を吸汁加害する重要な害虫です。本年の発生量を予測するため、令和8(2026)年2月に県内全域で越冬状況調査を実施しました。

発生状況

○チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの越冬量は昨年より多かった(図1、2)。

※ 県内102地点において、1地点当たり1m²(一部3m²)の落葉+表層土壌数cmの生存個体/m²を計数。

発生予測

○チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの越冬量は昨年より多いため、春以降の発生量は昨年より多いと予想される。

○気象庁の3か月予報(2月24日発表)によると、向こう3か月の平均気温は平年より高い予想であるため、果樹カメムシ類の活動は平年より早まると予想される。

防除対策

○定期的な園地巡回を心がけ、早期発見、早期防除に努める。

○適期に多目的防災網(4mm目合い以下)を展張する。

※なし及びりんごにおいては、人工授粉完了後速やかに展張する。

○フェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺数を4月以降に当センターホームページに掲載するため、防除の参考に御確認ください。

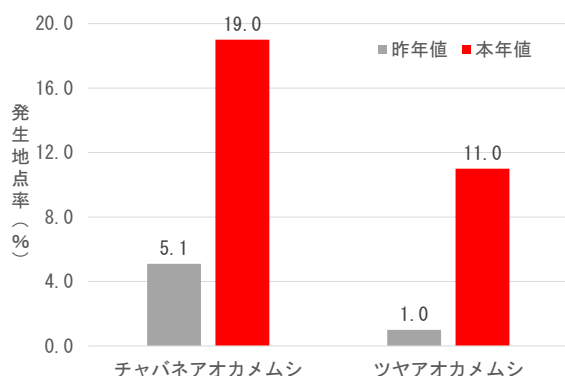


図1 発生地点率 (%)

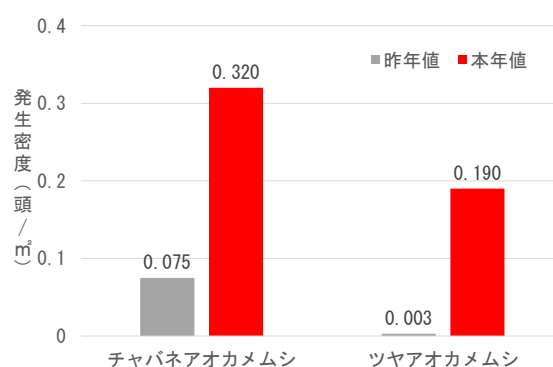


図2 発生密度 (頭/m²)

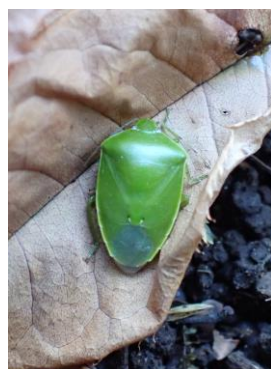


写真1

落葉下等で越冬中の
ツヤアオカメムシ成虫



写真2

チャバネアオカメムシの体色変化
 ※左：越冬時 右：活動時

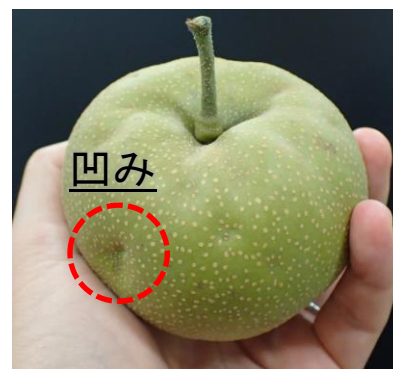


写真3

果樹カメムシ類による
なし被害果実

詳細は、農業総合研究センター (TEL 028-665-1244) までお問合せ下さい。

病虫害情報発表のお知らせは「[農政部X](#)」、[栃木県農業総合研究センターホームページ](#)でもご覧いただけます。また、[カメムシ防除作戦ホームページ](#)も御確認ください。

